



大学入試センター試験直前

大学入試センター試験まで1ヶ月を切りました。近づく本番に備え、本校51期生も、冬季休業期間中もそれぞれの科目の演習に取り組むこととしています。

大学入試センターの発表によると、平成28年度大学入試センター試験の志願者は前年度より4633人多い56万3765人ということです。高等学校等新規卒業見込者は5000人ほど減り、浪人生も2000人ほど減りますが、現役生の大学志願率が上昇しているようです。特に女子が昨年度より4199人増えています。ただし、九州内を見るとほぼ昨年並みです。

これからの大切な一日一日をどう過ごすか。大事なことは、やるべきことをとことんやり、最後の最後まで粘るということです。今までの積み重ねで、これまでにない理解力・集中力をもっているこの時期に、最高の効率で勉強してほしいと思います。

さらに、気をつけなければならないことは、体調を整えることです。ベストコンディションで臨むため、今から生活のリズムを崩さないように気をつけましょう。あと23日(12月24日現在)。51期生が頑張る姿を、保護者はもちろん、後輩である1・2年生、そして先生方も一緒に応援しています。頑張ってください。

進路目標を明確にしよう

受験を1・2年後にひかえた2年生・1年生の皆さんは自分の進路目標をどれだけ具体的に言えるでしょうか。大学入試に限れば、進路に関する意識の差が合否に大きく影響するため、早期の目標設定が必要です。

進路を考えるときに注意すべき五つの点をあげておきます。ぜひ時間的にゆとりのあるこの冬休みに、情報を収集したり、保護者の方と相談したりして下さい。

- ① 様々な活動を通して自分の関心事を見つめること。
- ② 学部学科や大学の情報を集めて研究すること。
- ③ 文系・理系という区分だけで判断しないこと。
- ④ 大学生や職業人の体験談を活かすこと。
- ⑤ 職業に関する情報を収集すること。

模試を上手に活用しよう

1・2年生のみなさんは、約1ヶ月後の1月23日、24日(2年生)に本年度3回目の対外模試を控えています。模擬試験は、みなさんの進路目標を達成するための大切なツールです。模擬試験を最大限に利用して、夢実現につなげましょう。模擬試験を受けるメリットはたくさんありますが、1・2年生の現段階では、次のような5点があげられます。

- ・ 全国レベルでの自分の学力の位置がわかる。
- ・ 勉強の進み具合がわかる。
- ・ 自分の弱点、これから伸ばすべき科目がわかる。
- ・ 問題を解く順番やペースなどがわかる。
- ・ 試験慣れすることで実力が出せるようになる。

2年生は5教科、しかも国語・数学・英語は200点満点になり、3年生と同様の配点と試験時間で実施されます。1年後にセンター試験の受験を控えたこの時期に、自分の学力がどの程度なのかを知る模擬試験です。ちなみに、東京大学や京都大学、医学部を目指す生徒は、国語・数学・英語の合計が8割以上、鹿児島大学は6割以上の得点が必要です。

1年生は3教科の試験。高校1年生としての実力がどの程度のものか、2年生になる前に自分の学力の位置を知るための試験です。

1・2年生ともに、モチベーションを強く持って受験してほしいと思います。

以下に各学年の模試科目・配点・時間を掲載します。

2年生			1年生		
国語	200点	90分	国語	100点	80分
数学	200点	120分	数学	100点	100分
英語	200点	90分	英語	100点	80分
地歴	100点	60分	2年理系は理科2科目、 公民なし		
公民	100点	60分			
理科	100点	60分	2年文系は理科1科目、 公民あり		
理科	100点	60分			

勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし

<意味>

負けるときには、何の理由もなく負けるわけではなく、その試合中に何か負ける要素がある。
勝ったときでも、何か負けに繋がる要素があった場合がある。

これはプロ野球の野村克也(元)監督の名言である。(もともとは平戸藩主、松浦静山のことば)

試合に勝つためには、負ける要素が何だったか、どうしたらその要素を消せるかを考えて行く必要がある。また、もし勝ち試合であっても、その中には負けに繋がることを犯している可能性があり、その場合はたとえ試合に勝ったからと言って、その犯したことを看過してはならない。

以下の文章は、ある予備校での浪人生活を経て合格を勝ちとった先輩が、予備校入学直後に「なぜ浪人することになったのか」と高校時代を振り返って記したものです。

高校1年生。無事に第1志望校の高校に入り、勉強や部活に燃えに燃えまくろうと気合を入れていました。しかし、高校と中学では学ぶ内容も多く、しかもより専門的になっており当初担任の先生も予習－授業－復習のサイクルを死守せよ。と何度も言っていました。その忠告は左耳から入り、右耳から出ていく始末でした。というも、中学時に通っていたとある塾の基本方針は学校の成績は大学入試では関係ないから、学校の授業よりも塾の授業に力を入れなさい。とのことでした。これを真に受けてしまった私は、それなら学校の授業はどうでもいいや、予習、復習もしないでおこうと3年後の大学入試で痛い目に合うとも知らずに、ズルズルと高校3年生、受験生へとなってしまいました。

さて、受験生となった私は本格的に受験勉強をしようと思いましたが、学校の授業をほったらかしにした結果、基礎、基本ができていないため、教科書、参考書その他を見てもさっぱりでした。その点、学校の成績の良い友達には、スムーズに受験勉強に入れているように感じ、不安、焦り、後悔の念が日に日に増していきました。また復習が身につけていないため、問題も解きっぱなしになり自分がどうして間違っていたのかも見ないままでした。その勉強の仕方を受かると思いませんか？3年前の自分。

さて、今私は浪人1年目の4月です。この高校3年間の勉強の仕方を悔い改め、まずは予備校の予習－授業－復習のスタイルを死守し、無駄のない勉強の仕方をやり遂げたいと思います。もしこの不合格体験記を見ている後輩の人たちがいましたら、今一度自分の勉強スタイルを見直してみてください。大学生になった自分が笑っていられるように。
(原文のまま)

あなたは、これからどんな山にのぼるのですか？のぼりたいのですか？

それは、高い山ですか、それとも低い山ですか？

高い山にのぼる第1歩、低い山にのぼる第1歩、同じ1歩でも覚悟が違います。

どこまで行くつもりですか。どこまで登るつもりですか。

目標がその日その日を支配します。

「成功に不思議の成功あり、失敗に不思議の失敗なし」

「合格に不思議の合格あり、不合格に不思議の不合格なし」



大学入試センター試験直前

大学入試センター試験まで1ヶ月を切りました。近づく本番に備え、本校51期生も、冬季休業期間中もそれぞれの科目の演習に取り組むこととしています。

大学入試センターの発表によると、平成28年度大学入試センター試験の志願者は前年度より46333人多い56万3765人ということです。高等学校等新規卒業見込者は5000人ほど減り、浪人生も2000人ほど減りますが、現役生の大学志願率が上昇しているようです。特に女子が昨年度より4199人増えています。ただし、九州内を見るとほぼ昨年並みです。

これからの大切な一日一日をどう過ごすか。大事なことは、やるべきことをとことんやり、最後の最後まで粘るということです。今までの積み重ねで、これまでにない理解力・集中力をもっているこの時期に、最高の効率で勉強してほしいと思います。

さらに、気をつけないければならないことは、体調を整えることです。ベストコンディションで臨むため、今から生活のリズムを崩さないように気をつけましょう。あと23日(12月24日現在)。51期生が頑張る姿を、保護者はもちろん、後輩である1・2年生、そして先生方も一緒に応援しています。頑張ってください。

進路目標を明確にしよう

受験を1・2年後にひかえた2年生・1年生の皆さんは自分の進路目標をどれだけ具体的に言えるでしょうか。大学入試に限れば、進路に関する意識の差が合否に大きく影響するため、早期の目標設定が必要です。

進路を考えるときに注意すべき五つの点をあげておきます。ぜひ時間的にゆとりのあるこの冬休みに、情報を収集したり、保護者の方と相談したりして下さい。

- ① 様々な活動を通して自分の関心事を見つめること。
- ② 学部学科や大学の情報を集めて研究すること。
- ③ 文系・理系という区分だけで判断しないこと。
- ④ 大学生や職業人の体験談を活かすこと。
- ⑤ 職業に関する情報を収集すること。

模試を上手に活用しよう

1・2年生のみなさんは、約1ヶ月後の1月23日、24日(2年生)に本年度3回目の対外模試を控えています。模擬試験は、みなさんの進路目標を達成するための大切なツールです。模擬試験を最大限に利用して、夢実現につなげましょう。模擬試験を受けるメリットはたくさんありますが、1・2年生の現段階では、次のような5点があげられます。

- ・ 全国レベルでの自分の学力の位置がわかる。
- ・ 勉強の進み具合がわかる。
- ・ 自分の弱点、これから伸ばすべき科目がわかる。
- ・ 問題を解く順番やペースなどがわかる。
- ・ 試験慣れすることで実力が出せるようになる。

2年生は5教科、しかも国語・数学・英語は200点満点になり、3年生と同様の配点と試験時間で実施されます。1年後にセンター試験の受験を控えたこの時期に、自分の学力がどの程度なのかを知る模擬試験です。ちなみに、東京大学や京都大学、医学部を目指す生徒は、国語・数学・英語の合計が8割以上、鹿児島大学は6割以上の得点が必要です。

1年生は3教科の試験。高校1年生としての実力がどの程度のものか、2年生になる前に自分の学力の位置を知るための試験です。

1・2年生ともに、モチベーションを強く持って受験してほしいと思います。

以下に各学年の模試科目・配点・時間を掲載します。

2年生			1年生		
国語	200点	90分	国語	100点	80分
数学	200点	120分	数学	100点	100分
英語	200点	90分	英語	100点	80分
地歴	100点	60分	2年理系は理科2科目、 公民なし		
公民	100点	60分			
理科	100点	60分	2年文系は理科1科目、 公民あり		
理科	100点	60分			

【2学年】

今年も残り少なくなりました…

考えてみるまでもなく今年も残すところ10日となった。1年使ってきた机上のカレンダーにも「Bye Bye 2015」「Hello 2016」の文字が見える。しかし私は極めてズボラだから、「1年の締めくくりだ」「新しい年を迎えるため」とか、そういう几帳面なことをいって几帳面な行動をとるのが苦手である。良いことなら年がら年中やっていたらいいし、好きなことならノベツ幕なしに励めばいい。年末だとか、お正月だといって普段しない何かを特別にしようとするのはおかしい。

吉田兼好が徒然草に書いたとおりである。昔から「怠け者の正月働き」という。この場合の「正月」は、広く捉えれば「年末年始」であって、普段からキッチンと掃除をしていないから、年末に大慌てで「今年の汚れ、今年のうちに」と、面倒なことになる。正しくは「今日の汚れ、今日のうちに」「毎日こまめに、継続的に」であって、1年分も汚れを溜めておいて年末に大慌てになるのは邪道である。こういうことは、掃除に限らない。勉強でも、部活動でも、「良いことはノベツ幕なし」が正しい。君たち自身对这些らに対して、「大晦日だからお休み」「お正月だから休憩」だと考えるなら、諸君は要するに好きではないのだ。いつもと同じことを絶え間なく継続するからこそ、石も岩も重々しく苦むして趣を増す。すなわち「力」がつくのだ。



だから、「お正月だから特別」という発想をもつべきではない。大昔から「ママ」「かあちゃん」「奥様」という存在は、年末年始になると大袈裟に色めき立つもので、パパは怒鳴り散らされ、子どもたちまで怠惰をなじられる。例えば、「ほら、そこジャマだから、どいて」「パパ、ゴロ寝ばかりしてないで、少しは手伝ってよ」「〇〇君、お掃除手伝って。そんなんじゃ、パパみたいになるわよ」「だから期末考査の成績が悪かったのよ」といった耳の痛い話。

今年の年末もどうか静かに除夜の鐘を聞いて、静かにお正月を迎えたいものだ。お正月にゴロ寝をするからこそパパなんだし、お正月にゴロ寝してないパパなんか、立派すぎてパパの名に相応しくない(笑)。そんなの、イヌは喜び庭かけまわり、ネコはコタツで丸くなるのと同じことだ。「年末年始だから特別なこと」なんか、最小限にとどめるべき。生活リズムもいつもどおり。お掃除もいつもと一緒に。「今年の汚れ、今年のうちに」より、「毎日キッチンと」の継続が基本。そうやって冷静に磨き続けた床だからこそ、ピカピカに光るのである。勉強も同じこと。「正月ぐらいはゆっくりしよう」というのは素晴らしい考えだが、それはあくまで目の前の景気づけであって、例えば「お正月目元だから普段の10倍ぐらいは捗ります」などということでは決してない。それを冷静に今のうちから確認してから勉強をすれば、景気づけ＝モチベーションアップぐらいは最低限期待できる。

みんなが楽しみにして、「がんばる」目標にしていた国内体験学習も終わった。あとは2年生をしっかりと締め括る意味でも学力をおおいに身につけてもらいたい。2016年(平成28年)が皆さんにとって素晴らしい1年になりますように。よいお年をお迎えください。(文責：濱川)



大学入試センター試験直前

大学入試センター試験まで1ヶ月を切りました。近づく本番に備え、本校51期生も、冬季休業期間中もそれぞれの科目の演習に取り組むこととしています。

大学入試センターの発表によると、平成28年度大学入試センター試験の志願者は前年度より4633人多い56万3765人ということです。高等学校等新規卒業見込者は5000人ほど減り、浪人生も2000人ほど減りますが、現役生の大学志願率が上昇しているようです。特に女子が昨年度より4199人増えています。ただし、九州内を見るとほぼ昨年並みです。

これからの大切な一日一日をどう過ごすか。大事なことは、やるべきことをとことんやり、最後の最後まで粘るということです。今までの積み重ねで、これまでにない理解力・集中力をもっているこの時期に、最高の効率で勉強してほしいと思います。

さらに、気をつけなければならないことは、体調を整えることです。ベストコンディションで臨むため、今から生活のリズムを崩さないように気をつけましょう。あと23日(12月24日現在)。51期生が頑張る姿を、保護者はもちろん、後輩である1・2年生、そして先生方も一緒に応援しています。頑張ってください。

進路目標を明確にしよう

受験を1・2年後にひかえた2年生・1年生の皆さんは自分の進路目標をどれだけ具体的に言えるでしょうか。大学入試に限れば、進路に関する意識の差が合否に大きく影響するため、早期の目標設定が必要です。

進路を考えるときに注意すべき五つの点をあげておきます。ぜひ時間的にゆとりのあるこの冬休みに、情報を収集したり、保護者の方と相談したりして下さい。

- ① 様々な活動を通して自分の関心事を見つめること。
- ② 学部学科や大学の情報を集めて研究すること。
- ③ 文系・理系という区分だけで判断しないこと。
- ④ 大学生や職業人の体験談を活かすこと。
- ⑤ 職業に関する情報を収集すること。

模試を上手に活用しよう

1・2年生のみなさんは、約1ヶ月後の1月23日、24日(2年生)に本年度3回目の対外模試を控えています。模擬試験は、みなさんの進路目標を達成するための大切なツールです。模擬試験を最大限に利用して、夢実現につなげましょう。模擬試験を受けるメリットはたくさんありますが、1・2年生の現段階では、次のような5点があげられます。

- ・ 全国レベルでの自分の学力の位置がわかる。
- ・ 勉強の進み具合がわかる。
- ・ 自分の弱点、これから伸ばすべき科目がわかる。
- ・ 問題を解く順番やペースなどがわかる。
- ・ 試験慣れすることで実力が出せるようになる。

2年生は5教科、しかも国語・数学・英語は200点満点になり、3年生と同様の配点と試験時間で実施されます。1年後にセンター試験の受験を控えたこの時期に、自分の学力がどの程度なのかを知る模擬試験です。ちなみに、東京大学や京都大学、医学部を目指す生徒は、国語・数学・英語の合計が8割以上、鹿児島大学は6割以上の得点が必要です。

1年生は3教科の試験。高校1年生としての実力がどの程度のものか、2年生になる前に自分の学力の位置を知るための試験です。

1・2年生ともに、モチベーションを強く持って受験してほしいと思います。

以下に各学年の模試科目・配点・時間を掲載します。

2年生			1年生		
国語	200点	90分	国語	100点	80分
数学	200点	120分	数学	100点	100分
英語	200点	90分	英語	100点	80分
地歴	100点	60分	2年理系は理科2科目、 公民なし		
公民	100点	60分			
理科	100点	60分	2年文系は理科1科目、 公民あり		
理科	100点	60分			

【3学年部から】

1 **51期生の現状と課題**

(1) いよいよセンター本番

センター試験が目前となった。学力検討会を経て、三者面談が行われたが、いかがだったろうか。もうこの期におよんであれこれと迷い、悩んでもしょうがない。これまでの努力を通じて培った自身の力を信じて本番に臨みたい。先日の朝日子で、センター試験の受験票が配布され、気の引き締まる思いをした者も多いだろう。そこで説明されたことについて、

（↑今年のセンター激励会。次は諸君の番だ！）

- ・ 受験票・写真票に写真（裏に氏名を記入のこと）を貼付、黒のボールペンで氏名を自署しておく。
- ・ 「個別試験用請求票」のみ切り離し、大切に保管する。センター試験会場では不要。
- ・ 受験票と写真票は絶対に切り離さないこと。
- ・ 平成28年1月15日（金）には試験会場の下見が行われる。会場は鹿児島大学農学部。
- ・ 「地歴公民」・「理科②」において、第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は、一時退室できない。長時間トイレに行けないので注意。
- ・ 「地歴公民」・「理科②」の第1解答科目について、併願校をも踏まえて決定すること。
- ・ 本番当日、「問題回収」は行わないので、各自で保管しておく。一日目の結果についてチェックしたりしないこと。2日目に悪影響を及ぼす可能性がある。

(2) 年末から年始も慌ただし。自分を見失うことのないように。

19・20日の北予備センターファイナルをもって正規の模試は終わったが、その後も各種パック模試が行われる。なるべく本番に近い形で実施されるので、当日を意識した生活リズムを確立するよう心がけよう。**本番は昼行われる。特に夜型になっている者は注意したい。**

年末は29日の駿台パック模試で一応の終了だが、12月29日（火）～1月3日（日）、年末年始返上で図書館学習室は開館されるので、どしどし利用したい。元旦に学校で勉強する、という状況は一生に一度かも知れない。

年始は1月4日（月）・5日（火）の河合塾パック模試でスタート。6日（水）・7日（木）は冬季特別指導となる。8日（金）から後期後半の開始、13日（水）には生徒会による「センター試験激励会」。いよいよ諸君が後輩たちに激励される側になるわけだ。

そして、16日（土）・17日（日）の本番当日を迎える。

あとは下欄を参照のこと。とにかく、**この時期の病気・怪我には細心の注意を払ってほしい。**本番当日、風邪でもうろうとしていた、では悔やんでも悔やみきれない。

51期生の諸君が最大の力を発揮できることを、祈ってやまない。

2 **平成27年12月～28年1月の進路関係、その他の行事**

- (1) Z会パック模試（12月25・26日）、駿台実戦パック模試（28・29日）、河合塾パック模試（1月4・5日） ※図書館学習室は年末年始も開館。
- (2) センター試験激励会（1月13日）
- (3) 大学入試センター試験（16・17日）
- (4) 自己採点（18日）
- (5) 特別授業開始（19日～2月23日）

